

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2017-221424 (P2017-221424A)

【公開日】平成 29 年 12 月 21 日 (2017.12.21)

【年通号数】公開・登録公報 2017-049

【出願番号】特願 2016-119061 (P2016-119061)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、複数のリール（R 1 , R 2 , R 3 ）と、
 役の内部抽選を行う内部抽選手段（1 2 0 ）と、
 前記複数のリールの回転態様及び停止態様を制御するリール制御手段（1 3 0 ）と、
 前記複数のリールが停止した場合における有効ライン（L 1 ）上の図柄組合せに基づいて、役の入賞判定を行う入賞判定手段（1 4 0 ）と、
 特定役の入賞を補助する入賞補助制御を実行可能な遊技が実行される期間である有利期間と、前記入賞補助制御を実行不能な遊技が実行される期間である非有利期間と、の間での移行に係る制御を行う有利期間制御手段（2 0 0 ）と、を備え、
 前記有利期間は、
 前記入賞補助制御が実行されない又は第 1 頻度で前記入賞補助制御が実行される第 1 有利期間と、
 前記第 1 頻度よりも高い第 2 頻度で前記入賞補助制御が実行される第 2 有利期間と、を含み、
 前記有利期間制御手段は、
 前記第 2 有利期間の終了後に前記第 1 有利期間を開始し、
 前記第 1 有利期間から前記第 2 有利期間へ移行する制御を実行可能である、ことを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のリールと、

役の内部抽選を行う内部抽選手段と、

前記複数のリールの回転態様及び停止態様を制御するリール制御手段と、

前記複数のリールが停止した場合における有効ライン上の図柄組合せに基づいて、役の入賞判定を行う入賞判定手段と、

特定役の入賞を補助する入賞補助制御を実行可能な遊技が実行される期間である有利期間と、前記入賞補助制御を実行不能な遊技が実行される期間である非有利期間と、の間での移行に係る制御を行う有利期間制御手段と、を備え、

前記有利期間は、

前記入賞補助制御が実行されない又は第 1 頻度で前記入賞補助制御が実行される第 1 有利期間と、

前記第 1 頻度よりも高い第 2 頻度で前記入賞補助制御が実行される第 2 有利期間と、を含み、

前記有利期間制御手段は、

前記第 2 有利期間の終了後に前記第 1 有利期間を開始し、

前記第 1 有利期間から前記第 2 有利期間へ移行する制御を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。